

令和2年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
成果報告書

団 体 名	公益財団法人出雲市芸術文化振興財団	
施 設 名	出雲市民会館	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	16,359	(千円)
	公 演 事 業	8,068 (千円)
	人 材 養 成 事 業	7,592 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	699 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 第15回ファミリーコンサート		新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	入場者 550、 参加者 200
				実績値	-※
2	出雲未来図活性化事業 出雲フィルハーモニー 交響楽団 第24回定期 演奏会		新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	950
				実績値	-※
3	出雲未来図活性化事業 出雲Jr.フィル 第8 回定期演奏会	令和2年10月4日(日)	演目： 二十億光年の孤独 Jシベリウス 交響詩「フィンラン ディア」ほか 出演： 出雲芸術アカデミージュニアコー ラス、ジュニアオーケストラ	目標値	550
		大社文化プレイスうらら館		実績値	200※
4	出雲未来図活性化事業 出雲オペラ	プレ：令和2年12月20日(日) 本公演：令和3年3月7日(日)	【プレ】 演目：アヴェマリア ほか 出演：板波利加、蓮井求道ほか 【本公演】 演目：歌劇《カヴァレリア・ルス ティカーナ》 出演：板波利加、蓮井求道、藤田 卓也ほか	目標値	1,733
		プレ：ビッグハート出雲 本公演：出雲市民会館		実績値	612(プ レ80 名/本 公演 532 名)※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 出雲芸術アカデミー講座 運営事業	令和2年4月～ 令和3年3月	芸術監督：中井章徳 指導者：米山道雄ほか音楽院講師 講座：音楽院、音楽研究員	目標値	470(受講者数)
		出雲交流会館ほか		実績値	383(受講者数)※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 出雲フィルハーモニー・アウトリーチ事業「音楽と音楽家の出前 2020」	令和2年11月～ 令和3年2月※	<アウトリーチ> 出演：玉串直美ほかアカデミー講師  <コンサート> 指揮：中井章徳 出演：出雲フィルハーモニーチェンバーオーケストラ 演目：動物の謝肉祭 他	目標値	1,650
		市内小学校等※		実績値	772※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<b>1 ミッション</b> <b>芸術文化活動への市民の積極的参加の促進</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で、全ての事業において中止や規模の縮小を余儀なくされたが、感染症対策に十分配慮しながら、継続的な事業実施に努め、芸術文化活動への市民参加の機会創出に寄与することができた。 <b>芸術文化活動を実施する市民・団体等との連携</b> 「出雲芸術アカデミー講座運営事業」、各種演奏会及びアウトリーチ活動等、多様な事業を教育機関や各種文化団体及び市民の参加・協力を得て取り組んだ。 <b>次代を担う人材の育成</b> 「出雲芸術アカデミーの講座運営事業」や「Jr.フィル定期演奏会」の実施等、幼少期から芸術文化活動に参加できる環境を創出することで、次代の担い手の育成に努めた。 <b>芸術文化を活用した社会参加機会の拡充</b> アウトリーチ事業は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、小学校及び教育支援センター限定で実施したが、障害者、高齢者施設や病院等からの要望もあり、社会的弱者とされる人達に芸術文化に触れてもらう絶好の機会と考える。 <b>関係機関との連携</b> 市内小中学校の校歌をオーケストラ演奏で録音し、各校に CD 配布する等、教育機関と連携しながらコロナ禍においても芸術文化活動を推進する取組に努めた。
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<b>文化的意義</b> 幼児から高齢者まで音楽を学べる「出雲芸術アカデミー講座運営事業」や、成果を発表できる公演事業の実施は、地域の実演家や愛好家のレベルアップにつながっている。 <b>社会的意義</b> 出雲芸術アカデミーの各種講座や市民参加型の演奏会の実施または、アウトリーチ事業により、いろいろな環境下にある幅広い世代の市民が芸術文化活動に親しめる環境を整えることで、芸術文化を通じた、多様な価値観が尊重される潤いと活力あるまちづくりに寄与している。 <b>経済的意義</b> 事業全般を通じて、楽器店や舞台、メディア関係業等への経済効果があったほか、仕込みから本番まで約10日間を要した「出雲オペラ」では近隣の宿泊施設や飲食店の利用促進も図られた。

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 1 公演事業

##### 目 標

新型コロナウイルスの影響で全ての事業において、中止や規模の縮小を余儀なくされたが、要望段階の目標値は概ね達成できた。

##### 指 標

各指標の達成度は下表のとおり。

※質的目標、社会的目標…出雲市芸術文化振興会議が行う事業評価結果から集計。

公 演 名	集客目標	顧客満足度	質的目標	社会的目標
①ファミリーコンサート	—	—	—	—
②出雲フィル定期演奏会	—	—	—	—
③出雲 Jr.フィル定期演奏会	99%	111%	108%	110%
④出雲オペラ	132%	110%	103%	112%

#### 2 人材養成事業

##### 目 標

講座は、アカデミー運営会議・企画会・講座運営会議等を計画的に開催することで、指導者の意思疎通を図り安定的な運営ができた。また、平成 30 年度から始めた指導者との個人面談を継続して行うことで、指導者の意見を講座に生かせるよう努めた。

##### 指 標

講座実施回数及び受講者数の指標は共に下回った。新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、受講者数に関しては、子ども達の習い事の多様化や経済状況による保護者の就労増加に伴う減少傾向も無視できない。講座内容の見直しや無料体験講座の開講等受講生確保に引き続き取り組むこととしている。

#### 3 普及啓発事業

##### 目 標

アウトリーチ事業は受入側の細かな希望を取り入れる体制を確立し、より充実した内容で実施できた。また、アウトリーチ体験者にコンサートに来てもらい、劇場とアウトリーチ先の関係性の強化につながった。

##### 指 標

アウトリーチ事業は新型コロナウイルス感染症の影響で、実施回数及び参加者数共に指標を下回った。春まちコンサート入場者数は指標を上回った（指標達成度 133%）が、アウトリーチによる訪問施設からの集客は 3%に留まった。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

公演・普及啓発事業の各事業は、人材養成事業として実施した「出雲芸術アカデミー講座運営事業」での講座内容とリンクさせながら、適切な準備期間を計画した。新型コロナウイルスの影響で中止となった事業もあったが、可能な限り実施に向け協議検討を重ね、感染症対策を心掛け、その時々状況に対応しながら、フレキシブルな事業運営を心掛けた。

#### 1 公演事業

##### ①第15回ファミリーコンサート

新型コロナウイルス感染症の影響による中止。

##### ②出雲フィルハーモニー交響楽団第24回定期演奏会

新型コロナウイルス感染症の影響による中止。

##### ③出雲Jr.フィル 第8回定期演奏会

合奏等の制限が続く状況下であったが、プログラムや配置を工夫し、日々の練習の成果を披露できた。

##### ④出雲オペラ

事業期間及び事業費共に当初の計画を変更せざるを得なかった。地元メンバー中心のオーケストラと合唱団でのオペラ公演としたが、舞台配置等を工夫することで、完成度の高い舞台を披露できた。

#### 2 人材養成事業

##### ①出雲芸術アカデミー講座運営事業

公演事業とリンクさせ、指導者や受講者が意欲的に音楽に取り組める環境を創出できた。

#### 3 普及啓発事業

##### ①アウトリーチ事業

アウトリーチ先の参加者に鑑賞してもらうコンサートを昨年度に引続き実施した。

事業	当初事業期間	確定事業期間	予算 (円)	決算 (円)	変更が生じた事象及び要因
公-①	2020. 4/19	中止	1,180,000	158,666	対象経費の20%を超える支出減/公演中止
公-②	2020. 7/26	中止	3,049,000	0	対象経費の20%を超える支出減/公演中止
公-③	2020. 11/8	2020. 10/4	1,594,000	965,103	対象経費の20%を超える支出減/規模縮小
公-④	プレ：2020. 12 本公演：2021. 3/7	プレ：2020. 12/20 本公演：2021. 3/7	18,051,000	9,656,493	対象経費の20%を超える支出減/規模縮小
人-①	2020. 4/1～ 2021. 3/31	同左	22,650,000	19,114,163	—
普-①	2020. 9～ 2021. 2	2020. 11～ 2021. 2	1,992,000	1,166,906	対象経費の20%を超える支出減/規模縮小

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 1 資源について

##### (1) キーパーソン

出雲芸術アカデミー芸術監督（中井章徳氏）

芸術アカデミー創設以来、主に管弦楽に関して「音楽のまち出雲」を牽引してきている。第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞及び全部門の最優秀者に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を受賞。このほか出身地倉敷市の芸術文化栄誉章や出雲市市民文化賞等を受賞。現在、京都市立芸術大学大学院博士課程作曲・指揮領域でさらなる勉学に励んでいる。現在44歳。  
コンポーザー・イン・レジデンス（平野一郎氏）及びアーティスト・イン・レジデンス（唐谷裕子）

中井芸術監督の構想により、両者は出雲芸術アカデミーの事業に関わっている。

##### (2) 出雲市民会館の建物設備

県内市町村では最大規模の施設で、迫りや仮設花道、また、所作台・松羽目、定式幕等を常備し、古典芸能をはじめ本格的な舞台公演ができる。2007年にロビー・ホワイエの増床等を行い来場者に親しみやすい空間となった。

#### 2 事業について

##### 公演事業

##### ①ファミリーコンサート

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

##### ②出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

##### ③出雲 Jr.フィル定期演奏会

講座回数の減少による練習不足が心配されたが、子ども達の懸命な演奏に多くの称賛をいただくことができた。講座や演奏会等、今まで当たり前と感じていた事へのありがたさを感じる機会となるとともに、コロナ禍の中でも、子ども達の成長を市民にアピールし感動を与えることができた。

##### ④出雲オペラ

新型コロナウイルスの影響により、上演方法や客席設定等、本番直前まで、状況に応じた対応を迫られたが、都度、音楽監督や舞台監督等と協議しながら、今できるベストを心掛けた。リハーサル期間中に、出演者の配置や演出等、何度も修正が加えられたが、出演者や舞台スタッフ等、関係者全員が「良い公演を観てほしい」という気運の高まりにつながり、本番では満席の来場者に「今できる最高のオペラ」を披露することができた。客席で涙を流しながら観劇する姿もあり、「オペラの素晴らしさに気づいた」「音楽で元気をもらった」等、賛辞の意見を多くいただくことができた。地元出演者にとっても成功体験となる公演であり、当地の音楽をはじめとする実演芸術のレベルアップにつながる公演とすることができた。

##### 人材養成事業

##### ①講座運営事業

幼児から社会人までを対象に年間を通じて管弦楽、合唱、邦楽等の音楽講座を行い、その成果発表として出雲市民会館を中心に各種コンサートを実施している。また、指導者（約30名）も年間を通じて行う学術研究会等に参加し学んでいくことが、その条件となっている。

##### 普及啓発事業

##### ①アウトリーチ事業

一方的ではなく双方向の関係を生み出すため、アウトリーチ先の参加者に鑑賞してもらうコンサートを、昨年度に引続き実施した。

## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

「音楽のまち出雲」は、以前より市内において人口に膾炙していたが、平成 22 年度に新たに制定された「出雲市芸術文化振興指針」で正式に位置付けられ、その際、芸術アカデミーは出雲の音楽活動の推進役として位置付けられた。出雲市の芸術文化振興施策を協議する出雲芸術文化振興会議の事業評価において、芸術アカデミー関係事業は高い評価を得ている。

情報発信の取組として、平成 30 年度に行った財団ウェブサイトの刷新や、それに伴う財団の公式フェイスブック及びツイッターの開設、また、芸術アカデミーだよりの発行等は継続して更新・発行を行っている。

出雲芸術アカデミー創設以来の本科（小学生から高校 2 年生）修了生は 150 名近くとなり、プロのプレイヤーとして活動している者や、県内の小・中・高校の教師、出雲芸術アカデミーの講師として、地元の音楽振興に寄与している者も増えている。また出雲フィルハーモニー交響楽団の演奏会に修了生が多数出演するなど、芸術アカデミーの成果は着実に表れている。

これら修了生がアカデミー修了後もアカデミーの発展に寄与できるよう、令和元年度に「出雲芸術アカデミー本科 OB・OG 会」を立上げた。（会員数 20 名：R2. 3 現在）（会員数 23 名：R3. 3 現在）

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

#### 人事戦略

劇場・音楽堂等の機能強化に資する事業運営のノウハウを他職員に伝え、組織全体で、その層を厚くしていくよう人事異動を計画的に進めている。

#### 正規雇用率

この5年間の推移は約60%で、数値が低下しないよう努めている。

#### 人材配置、組織内部でのキャリアパス

文化事業部の管理職は3名と財団組織では最多であり、文化事業部係長経験者を同管理職に昇任させている。また、平成31年度は芸術アカデミーの受講経験者を新規採用し、文化事業部に配置した。

#### 劇場・音楽堂間のネットワークの形成

出雲 Jr.フィルの交流演奏会を県内外の劇場と実施している（H27 島根芸術文化センターグラントワ。H29 東広島芸術文化ホール）。また、スキル向上の取組として、人材養成交流事業のなかで、当財団職員を先進施設（千葉県文化会館等）に派遣し、ノウハウの吸収やネットワーク造りに努めてきた。また、アートマネジメント人材育成講座の実施や島根県民会館の地域アーティスト発掘公演との協働などを通じて人材の育成に努めている。

#### 教育機関とのネットワーク形成

これまで「出雲の春音楽祭」や「出雲 Jr.フィルコンサート」に市内小中学校から多くの生徒が参加しており、また、市内小中学校も対象としてアウトリーチ事業を展開している。なお、一昨年度初めて出雲市教育委員会管理職から芸術アカデミー推進委員が選出された。

#### 安定的な収益基盤と財源確保の取組

出雲市から指定管理料のほか、ソフト事業に対して出雲総合芸術文化祭事業に負担金、出雲芸術アカデミー事業に補助金を受けており、財団及び芸術文化事業の安定的な収益基盤となっている。

#### その他の資金の種類

出雲 Jr.フィルの活動に対して支援金制度を設けており、この数年の金額等は、H29（274千円、94件）、H30（240千円、90件）、H31（656千円、142件）、R2（255千円、142件）である。

#### 資金調達の手段

出雲芸術アカデミー講座運営事業では、高額にならないよう配慮しながら受講料を徴収し、その運営に充てている。